

宝暦6年（1756）について

浄楽寺が木仏（阿弥陀如来像）とともに寺号を認可された宝暦6年はどんな年だったのでしょうか？

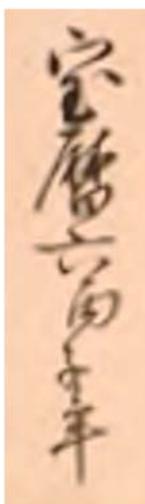
宝暦【ほうれき or ほうりゃく】年間は、近世、18世紀中頃、江戸時代後期の元号で1751-1764年の間を指します。この時代の江戸幕府将軍は、第9代徳川家重、10代徳川家治です（実権は第8代将軍の徳川吉宗～1751）。

コトバンクによると、宝暦は天災の凶事を断ち切るために行われた災異改元による元号で、第8代将軍吉宗の実権政治体制が終わり、家重は側近の大岡忠光を重用。忠光の死後、家治は田沼意次を側用人【そばようにん】とし後、老中として幕政を任せるようになった年代である。

コトバンク>> <https://kotobank.jp/>より

浄土真宗西本願寺では、慶長元年（1596）の大地震や元和3年（1617）の失火を経て、宝暦10年（1760）本格的な阿弥陀堂が再建され、ここに現在の本願寺の偉容が整備された。

西本願寺 HP>> <https://www.hongwanji.kyoto/know/history.html> より



宝暦六丙子年

	十干	音読み	訓読み	十二支	音読み	訓読み
1	甲	こう	きのえ	子	し	ね
2	乙	おつ	きのと	丑	ちゅう	うし
3	丙	へい	ひのえ	寅	いん	とら
4	丁	てい	ひのと	卯	ぼう	う
5	戊	ぼ	つちのえ	辰	しん	たつ
6	己	き	つちのと	巳	し	み
7	庚	こう	かのえ	午	ご	うま
8	辛	しん	かのと	未	び	ひつじ
9	壬	じん	みずのえ	申	しん	さる
10	癸	き	みずのと	酉	ゆう	とり
11				戌	じゅつ	いぬ
12				亥	がい	い

丙子について

宝暦6年は、認可状にあるように干支でいうと丙子【ひのえね】です。古文書には年と並べてこの干支が書かれています。干支【えと】は、十干【じっかん】と十二支

浄楽寺 寺号認可状と宝暦6年について

【じゅうにし】の組み合わせでは60通り（六十干支）あり、一巡すると還暦となります。

国立国会図書館 HP「日本の暦」>>

<https://www.ndl.go.jp/koyomi/index.html> より

この頃活躍した人物

与謝 蕪村（よさぶそん 1716-1783、俳人、文人画家）

田沼 意次（たぬまおきつぐ 1720-1788、幕臣後に老中で経済政策）

平賀 源内（ひらがげんない 1728-1779、本草学者、地質学者、蘭学者、医者
の天才）

杉田 玄白（すぎたげんぱく 1733-1817、若狭国小浜藩医・蘭学医）